

# 令和7年度 渋川地区医師会 事業報告

## 1. 会員状況・組織運営

- 会員数は110名(平均年齢62.06歳)。
- 総会・理事会・委員会など各種会議を定期的に開催。

## 2. 行政・地域連携

- 医療行政連絡会議を毎月開催し、渋川市・吉岡町・榛東村など行政や保健・福祉・警察・消防・歯科医師会・薬剤師会と連携。
- 救急医療、検診、予防接種、感染症対策、地域包括ケアなど多岐にわたる課題を協議。

## 3. 地域医療・学術活動

- 学術講演会や研究会を多数開催。コロナ禍を経てハイブリッド開催も定着。
- 地域包括ケアシステム推進のため「在宅ケアネット渋川」や「在宅医療介護連携支援センター」を運営。
- 予防接種(RSウイルス母子免疫、HPV、高齢者肺炎球菌、インフルエンザ、麻疹風疹、带状疱疹など)や各種健診を実施。
- 救急医療体制(休日当番医73日、夜間急患診療所365日運営)、二次救急を維持。
- 産業医活動も活発で、23名が84事業所を担当。

## 4. 看護学校運営

- 渋川看護専門学校は3学年計75名で運営。卒業生の65%が北毛地域に就職。
- 学生確保や運営財源の課題が続く中、広報強化や自治体補助金増額、授業料改定など対策を実施。
- 国家試験合格率は80.8%。今後は合格率向上と持続可能な運営体制の検討が課題。

## 5. 社会保険・診療報酬

- 診療報酬改定に関する勉強会や意見集約を実施。令和8年度はプラス改定(3.09%)で医療機関の収支改善が期待される。
- 一方で加算新設や改変による現場負担増も懸念。

## 6. その他の活動・課題

- 学校保健医学部会では薬物乱用防止や生活習慣病予防などの講演会を開催。
- 医師の働き方改革(時間外労働上限規制)に対応し、宿日直許可取得や研修医確保に努めている。
- 小児医療センターの移転に伴う地域医療体制への影響や、医師・看護師の人材確保が今後の大きな課題。
- 渋川地区医師会ホームページやメーリングリストを活用し、情報共有・発信を強化。

## まとめ

令和7年度は、地域医療の維持・発展、行政や多職種との連携強化、看護人材育成、社会保険制度への対応など多岐にわたる活動を展開。人口減少・高齢化、医療従事者の確保、財政面の課題など厳しい環境下でも、地域医療を支えるための取り組みを継続している。今後も持続可能な体制構築と、地域住民の健康増進に向けた活動が求められる。

令和7年度  
決算報告書

自 令和7年4月 1日  
至 令和8年3月31日

一般社団法人渋川地区医師会

一般社団法人 洪川地区医師会

科 目	合計
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	292,735,990
未収金	35,747,093
立替金	5,971
流動資産合計	328,489,054
2. 固定資産	
(3) その他固定資産	
建物	140,261,251
建物付属設備	3,604,343
什器備品	4,731,006
土地	47,200,000
投資有価証券	2,650,000
その他固定資産合計	198,446,600
固定資産合計	198,446,600
資産合計	526,935,654
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	15,139,492
前受金	31,192,000
預り金	1,373,884
流動負債合計	47,705,376
負債合計	47,705,376
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	479,230,278
正味財産合計	479,230,278
負債及び正味財産合計	526,935,654

一般社団法人渋川地区医師会

(単位：円)

科 目	合計
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
受取入会金	[ 500,000]
受取入会金	500,000
受取会費	[ 60,556,150]
正会員受取会費	( 60,556,150)
医師会費	3,833,200
特別会費	54,488,700
医師会費(夜間謝金)	2,234,250
事業収益	[ 74,132,691]
看護学校事業収益	( 70,200,000)
入学金	4,450,000
授業料収益	44,100,000
受験料収益	540,000
実験実習収益	14,550,000
施設整備収益	6,560,000
夜間事業収益	3,932,691
受取補助金等	[ 90,425,765]
受取地方公団補助金	37,403,800
受託収益	50,138,249
受取地方公団助成金	2,883,716
雑収益	[ 2,619,600]
受取利息	246,550
雑収益	2,373,050
経常収益計	228,234,206
(2) 経常費用	
事業費	[ 198,469,507]
医薬品費	531,189
診療材料費	438,268
実習費	2,702,548
教材費	247,933
給料手当	61,714,081
臨時雇賃金	6,912,525
賞与	15,409,540
退職給付費用	2,320,200
法定福利費	12,358,605
福利厚生費	479,222
その他人件費	5,844,808
理事報酬	500,000
広告宣伝費	2,463,228
接待交際費	620,451
旅費交通費	1,609,735
通信運搬費	1,947,863
建物減価償却費	10,377,721
什器減価償却費	2,761,466
消耗品費	2,305,759
修繕費	506,572
印刷製本費	2,752,444
燃料費	116,575
光熱水料費	5,774,937
賃借料	8,327,567
保険料	2,191,490
諸謝金	34,573,680
租税公課	717,735

科 目	合 計
支払負担金	102,510
雑費	7,885,705
設備点検費	2,298,095
図書研究費	1,677,055
管理費	[ 51,823,493]
役員報酬	1,850,000
給料手当	14,304,080
賞与	4,599,120
退職給付費用	498,720
法定福利費	3,668,164
福利厚生費	3,193,468
広告宣伝費	646,460
接待交際費	2,093,804
会議費	197,362
旅費交通費	6,526,780
通信運搬費	1,139,471
建物減価償却費	2,662,925
什器減価償却費	44,000
その他減価償却費	36,099
消耗什器備品費	93,268
消耗品費	1,057,749
修繕費	1,091,375
印刷製本費	549,692
燃料費	53,784
光熱水料費	912,526
賃借料	2,613,928
保険料	265,360
諸謝金	957,000
租税公課	219,365
支払負担金	120,590
雑費	2,428,403
経常費用計	250,293,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22,058,794
評価損益等計	0
当期経常増減額	△ 22,058,794
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 22,058,794
他会計振替額	[ 0]
当期一般正味財産増減額	△ 22,058,794
一般正味財産期首残高	501,289,072
一般正味財産期末残高	479,230,278
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	479,230,278

# 監 査 報 告 書

令和7年度業務執行状況、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに関係諸帳票、  
証拠書類について監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

令和8年5月26日

一般社団法人渋川地区医師会

監 事 中山 果枝 (印)

監 事 木 木 一世 (印)